

### ③ 調節池

8年にかけて行われた荒川の河川改修で新しい堤防が作られ、取り残された旧河

濫しやすくなりました。そこで河川の拡幅や調節池の建設などの対策を打ってき

を設けました。新河岸川放水路の入り口には洪井の水門があり、普

## びん沼川は新河岸川の はんらんを防ぐ調節

### 洪水時には釣り場や公園も水没する

段は開いていますが、びん沼調節池の水位が上がり逆流の恐れがある時は閉めます。新河岸川排水機も、通常は稼働していませんが、荒川の水位が上がって自然のままでは水が流れなくなつた場合、排水機場のゲートを開けてポンプを使って毎秒60m<sup>3</sup>の水を排水することができます。

調節池はいつできたのですか。

市民の憩いの場であり、釣り人のメッカであるびん沼川。このびん沼川は、実は洪水対策として設けられた調節池でもある。河川行政面からのびん沼の歴史と役割について、埼玉県川越

道が何か所もあり、その1つがびん沼川になります。それ以降、伏流水や周辺農地の排水が滞水する河跡湖となっていました。

たわけです。びん沼川の調節池とは具体的にどのようなものなのでしょうか。

県は、新河岸川流域の治水対策の一環として、この旧河道を利用した調節池を作るということで、事業を進めてきました。現在は、調節池としての役割を持っていることになりました。

県は、新河岸川流域の治水対策の一環として、この旧河道を利用した調節池を作るということで、事業を進めてきました。現在は、調節池としての役割を持っていることになりました。

びん沼調節池は、新河岸川であふれた水を荒川へ流下させたり、一時的に貯留するための池です。そのために新河岸川の水を引き入れる水路として新河岸川放水路を建設、また荒川への出口には新河岸川排水場

―びん沼川はどのようなようにしてきたのですか。

―新河岸川の治水対策とはどういうことですか。

―調節池を作る時に、元々あったびん沼の形状は変化したのですか。

以前は、びん沼川は左右にうねって蛇行を繰り返す荒川の流路の一部でした。河岸の村々は江戸時代以降、毎年水害に見舞われていました。明治43年の大水害を契機に、大正7年から昭和

新河岸川の流域は、都市化の進展で、これまで田や畑に浸み込んでいた雨水が急激に河川に流れ込み、氾

新河岸川放水路の入り口には洪井の水門があり、普



洪井水門

―調節池を作る時に、元々あったびん沼の形状は変化したのですか。元々河川部には

新河岸川放水路の建設工事は昭和43年に始まっています。調節池の整備は、用地買収などそれに先行して行いました。調節池の形ができたのは平成16年です。現在それぞれ1基の洪井の水門と新河岸川排水機は今後2基を増やす計画を持っておりま



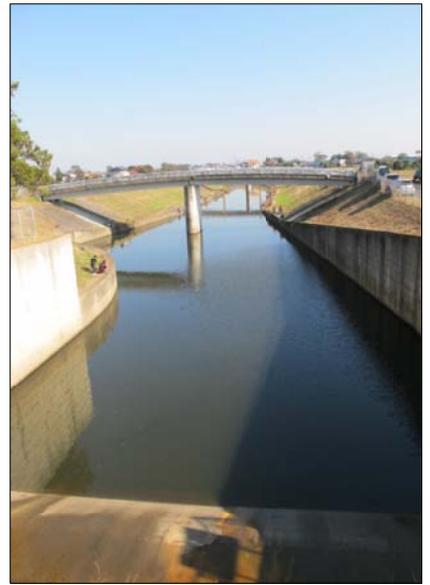
南畑排水機場

調節池の面積は、調節池全体で

調節池の面積は、調節池全体で

農地もあり、民有地を買収。一部は堤防を築きました。掘り込んだところもあります。

建設は自然環境に配慮したのでしょうか。



新河岸川放水路

調節池の面積は、調節池全体で



南畑排水機場近くも釣り人が多い

か。

概ね5年に1回程度、治水上の影響等を考慮しながら、刈り込むことになっています。

今年の春、びん沼川の一部で実施しました。

釣り人も管理されるのですか。

県としては維持管理に支障がなければ釣りは自由です。しかし、堤防をこわすような行為には厳しく対処します。たとえば、勝手に小屋を建てる、河川敷に車を止めるとか。

### ③びん沼自然公園

びん沼川のほとりに、富士見市の「びん沼自然公園」がある。

びん沼川調節池の一部として埼玉県が用意した土地を富士見市が借り受けて公園として整備、2002年にオープンした。

面積5・7ヘクタールの敷地のほとんどは、植樹された雑木林（「カブトムシの森」）と芝生広場から成っている。建造物は、遊歩道の他、見晴らしデッキ、舞台



雑木林の中に立つ案内板

## 野趣あふれる びん沼自然公園

### 実は調節池の中、洪水時は水没



葦の茂る蛭沼（右手）



開放的な芝生広場

となる木製デッキくらい。公園は直接川の水に面しておらず、間には葦が生い茂った蛭沼と呼ばれる湿地帯が広がる。市街地から遠い場所柄訪れる人は少ないが、自然の景観と生態系を生かした野趣あふれる公園である。

公園利用者も多くは知らないが、あくまでここは調節池の一部である。洪水時には水没することになる。河川敷にある公園はほとんど同じだが、留意しておく必要がある。